

平成29年度事業報告書(H29. 4. 1～H30. 3. 31)

日本では高齢化の加速に加え、人口減も予測されており、健康は単に個人の問題ではなく、社会レベルで取り組むべき課題という認識が高まっています。特に、将来重篤な健康障害となる可能性の高い骨粗鬆症のような疾患は、予防に重点を置いた対策を推進する必要性が叫ばれています。こうした社会・人口構造の変化の中で、骨粗鬆症財団では、『環境の変化に対応した事業の発展・拡充』並びに『市民ファーストの視点を明確化』の2点を基本方針として平成29年度事業を実施しました。特筆すべき活動として、リエゾンサービスの伸展によって求められていた医療従事者への新たなアプローチとして「骨粗しょう症連携手帳」の完成と情報紙「カノープス」の配信開始が挙げられます。こうした新たなルートの開拓や啓発ターゲットの拡大は、財団の重点課題であり、更に鋭意努力して活動を推進していく所存です。

一方、平成29年度の財務状況としては、1,100万円の赤字を計上しました。これは平成28年度に生じた剰余金(公益認定法5条)を解消するために「世界骨粗鬆症デー」の広報や活動を拡大した結果を反映させています。収益事業等の増加次第では今後も一昨年と同様、剰余金が発生することが考えられ、骨粗鬆症財団も中長期的な視野に立った経営戦略を策定する局面を迎えています。

今期以降、「研究助成」の在り方を含め各事業の優先度や拡大性の検討に併せ、SDGsの視点に基づいた事業の展開を図る必要性もあると考えます。

以下に平成29年度の活動内容を概説致します。

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する資材・資料の作成と配布

〈既存の資材〉

ホームページの請求フォーム、電話等から受付、原則無料配布

〈新規作成資材〉

・世界骨粗鬆症デー2017 ポスター・リーフレット 2種

① 「え！私の骨大丈夫？」(インフォグラフィック)

② 「骨美人生活」(バレリーナの背骨編)

作成枚数 ポスター 13,600枚／リーフレット 368,000枚

・「ストップ！転倒 骨粗しょう症で骨折しないために」 ※(一財)日本宝くじ協会助成金にて制作
自治体、病医院、各イベント等において、3,854カ所・2万部配布

・「骨粗しょう症連携手帳」(後述)

ロ) ホームページ、Facebook等での情報発信

・ホームページアクセス数(ページビュー:Webページが閲覧された回数)の推移

2016年:83,313/月

2017年:84,365/月

・「病医院リスト」登録数 1,926件(平成30年4月30日現在)

・トップページへのバナー広告掲載で運営費の確保(11社)

ハ) 広報誌等による情報発信

・財団ニュースの発行とメール配信(2回)

(主な内容)

No. 31(8月)「WCO-IOF-ESCEO Congress 2017 in Florence」

No. 32(3月)「『カノープス』、『骨粗しょう症連携手帳』が完成しました」

・一般向け骨粗しょう症情報紙『カノープス』創刊(eメールによる無料配信、奇数月20日発行)
『カノープス』編集会議の開催(3回:8/20、12/3、3/25)

準備号(11月)、第1号(1月)、第2号(3月)の配信:

日本骨粗鬆症学会誌に同封、日本骨粗鬆症学会ブース、各地骨を守る会、WOD
キャンペーン、鹿児島県日置市健康イベント、パナソニック骨量測定会、OLS講演
会等にて『カノーパス』や「カノーパス案内チラシ」を配布

配信申込状況 533件(4月30日現在)

- ・『Osteoporosis Japan PLUS』(ライフサイエンス出版)の編集協力
内容の監修、編集委員会への参加
- ・宣伝会議賞でのプロモーションコピーの公募
骨粗鬆症財団賞:「生涯現役」その思い、骨まで伝わっていますか?
宣伝会議ゴールド賞:「5人に1人。」抽選なら当たる気がする
- ・薬局、薬剤師向け 財団活動紹介チラシ(1万部制作)
class A 薬局の健康情報紙「Life」折込にて約7,000薬局へ配布
- ・日本骨粗鬆症学会誌(「JJOS」)にて財団活動紹介チラシの配布(7,500部)
- ・第19回日本骨粗鬆症学会 ブース出展(10月20日(金)～ 22日(日)・大阪国際会議場)

二)『骨粗しょう症連携手帳』制作と配布の開始

『骨粗しょう症連携手帳』編集会議の開催(2回:5/21、8/20)

平成29年9月 第1版完成(5万部)

第19回日本骨粗鬆症学会から配布開始。OP専門医、OPマネージャーなど骨粗鬆症に積極的に取
り組んでいる方をターゲットに案内(リクエストで約18,000冊配布)。

ホ)世界骨粗鬆症デー・キャンペーン(WOD)

①プレスセミナー

日 時: 平成29年9月27日(水) 15時～16時

場 所: 霞山会館 牡丹の間(東京都千代田区)

講 演: 開会の辞「世界骨粗鬆症デーに寄せて」 太田博明 先生

「National Data Baseを用いた骨粗鬆症診療の実態調査結果の概要」

玉置淳子 先生(大阪医科大学)

「ビタミンD不足・欠乏の蔓延と骨粗鬆症 -日本の現状-」

岡崎 亮 先生(帝京大学ちば総合医療センター)

「みんなで目指そう!健康日本21」 川本めぐみ氏(厚生労働省健康局)

ブース: プレス関係者の骨量測定(QUS)体験コーナー

出席者: メディア関係者 21社26名。テレビ東京(World Business Satellite)にて放映の
他、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、しんぶん赤旗など29誌に当日の
紹介記事掲載を確認

②世界骨粗鬆症デーイベント

〈骨量測定体験会&ミニレクチャー:大阪市〉

日 時: 平成29年10月20日(金) 11時～15時

場 所: 大阪中央公会堂(大阪市北区)

講 演(ミニレクチャー):

「骨と栄養の話」 田中 清 先生(京都女子大学)

「骨に良い運動の話」 松井 浩 先生(ヒューマンモア)

出展コーナー:骨量測定体験、乳製品ブース、運動機能測定(日本健康倶楽部)
来場者:骨量測定:約160名・ミニレクチャー:約30名

〈骨量測定体験会と啓発資材の配布:松本市〉

日 時:平成29年10月20日(金) 11時~15時

場 所:松本駅前広場(松本市マスコットキャラクター「アルプちゃん」とWOD資料配布)
イオンモール松本(骨量測定体験会)

来場者:骨量測定:約170名

協 力:一般財団法人 松本ヘルス・ラボ

〈ライトアップと広告〉

・WODフラッグ掲示(平成29年10月1日~10月28日)

大阪市・三休橋筋ガス燈(1.2km)にフラッグ54枚

・ブルーライトアップ

観覧車「レッドホース・オオサカホイール」(大阪府吹田市「EXPOCITY」内)
松本城(長野県松本市)

・産経新聞 東海・北陸版(10/19号)15段広告「明日10月20日は世界骨粗鬆症デー」

・サンケイリビング大阪「ご存知ですか?いつの間にか骨折」

③ポスターとリーフレットを作成、全国1,857自治体・255関連団体や病医院に配布

④WODのぼりとノベルティボールペンの制作(各イベントで使用)

へ)骨量測定拡大キャンペーン

①QUSによる骨量測定体験会の実施(11回)

超音波骨密度測定装置(AOS-100SA/日立製作所製)を所有して実施
測定者 合計 1,411名

②動画作成・展開

・骨量測定を促す動画を2編作成

「洋画予告編」「骨の幸せ編」(各45秒)

・YouTubeで公開(URLは財団ホームページ上で公開)

(閲覧件数 洋画予告編-385回/骨の幸せ編-333回 4月10日現在)

・動画希望者にダウンロードファイルにて無料提供

(個人賛助会員・日本骨粗鬆症学会員等に告知)

病医院約100カ所より提供申込み

・デジタルサイネージ(電子看板)にて放映(10月1日~20日)

東京 伊勢丹立川ビジョン/横浜 S-VISION/大阪 天王寺ビジョン

③骨量測定推進ポスターの作成

骨量測定推進ポスターを作成、DIP納入先に掲示(富士フィルムメディカルと共同)

④骨粗鬆症検診成功事例の紹介

東松山市役所(埼玉県) ビデオ収録・ホームページにて公開

ト)地域骨を守る会の支援・連携

・各骨を守る会に助成金を支給

・第6回「全国骨を守る会連合会」の開催

日 時:平成29年4月2日(日) 13:00~15:00

場 所:AP東京八重洲通り 12F Cルーム

主な議題: 全国8か所の地域骨を守る会活動の紹介
「仙台骨を守る会」の連合会への参画 等

- ・札幌骨を守る会支援「留萌コホートピアウィーク ～明日の健康を考える～」
開催日:平成29年9月19日(火)～22日(金)
主 催:るもい健康の駅(北海道留萌市)
協 力:札幌骨を守る会
内 容:骨量測定体験会(186名)、市民公開講座、FMもえるラジオ放送、運動教室

チ)精度よくDXAで骨量測定するためのeラーニング

ホームページにて無料視聴
視聴申込:690名(4月25日現在)
講師:福永仁夫先生、曾根照喜先生、友光達志先生

リ)電話、E-mail、ホームページから寄せられる相談・質問等への対応

ホームページから質問・相談 217件(月平均 18件)
啓発資材の請求 518件(月平均 43件)

又)骨粗しょう症友の会の検討

- ・第6回「骨粗鬆症患者の会WG会議」開催
日 時:平成29年6月18日(日)11時～13時
場 所:AP東京八重洲通り 7階 Tルーム
議 題:情報誌の発行について

ル)その他

記事監修・編集協力

- ・朝日新聞 朝刊折込みパノラマワイド広告(12月30日(土)):中外製薬企画
「歴史上の偉人と背くらべ」
(紫式部、お市の方、福澤諭吉、西郷隆盛と愛犬ツンのほぼ実物大広告)
- ・医療従事者向けFRAXアプリ:中外製薬企画
- ・新聞広告・テレビCM
「『いつのまにか骨折』は連鎖するかもしれません。」:日本イーライリリー企画

(2) 研究助成事業

イ) 平成28年度助成分をまとめ、『研究助成報告集』を作成、執筆者及び関係団体へ配布

- ・第24回財団研究助成報告書 8題(指定 3/一般 5)
- ・第12回リリー研究助成プログラム報告書 10題
- ・第 9回旭化成研究助成プログラム報告書 8題

ロ) 平成29年度分として次の3助成に対する交付を行った。

- ・第25回(平成29年度)財団研究助成
- ・第13回(平成29年度)リリー研究助成プログラム(骨領域研究)
- ・第10回(平成29年度)旭化成研究助成プログラム:骨粗鬆症とそれを取り巻く諸問題
(骨粗鬆症に関する臨床研究)

○第25回(平成29年度)財団研究助成の交付 (研究期間:平成29年4月～30年3月)

【指定課題】 助成金額:1件100万円 応募者数 5題

	課 題	所 属	氏 名
1	妊娠後骨粗鬆症に起因する脆弱性骨折に関する疫学調査	東京医科歯科大学医学部 附属病院 クオリティ・マネ ージメント・センター	鳥羽 三佳代
2	骨粗鬆症性椎体骨折と脊柱後弯症の因果関係の解明を目的とした都市圏大規模高齢者コホート研究	大阪市立大学大学院医学 研究科 整形外科教室	星野 雅俊

【一般課題】 助成金額:1件60万円 応募者数 30題

	課 題	所 属	氏 名
1	骨粗鬆症治療への応用を目指した骨親和性蛋白質医薬品の開発	九州大学大学院薬学研究 院 創薬科学	麻生 真理子
2	慢性腎臓病患者に発生するミネラル結晶及びコラーゲン分子の組織化障害と骨強度特性の変化	北海道大学大学院 医学 研究科整形外科学分野	高畑 雅彦
3	運動器リハビリテーションが骨粗鬆症だけでなく健康寿命の延伸に影響する-大規模住民検診におけるAGE(終末糖化産物)と骨粗鬆症、サルコペニアの関連の検討-	和歌山県立医科大学附属 病院紀北分院 脊椎ケア センター	寺口 真年
4	骨密度と大脳深部白質病変および認知機能低下の関連についての検討	東京大学医学部附属病院 検診部	松本 ルミネ
5	ペリオスチンと骨粗鬆症の関係について	佐賀大学医学部 整形外 科学教室	森本 忠嗣

(敬称略・氏名50音順)

◇第13回(平成29年度)リリー研究助成プログラム(研究期間:平成29年1月～29年12月)
助成金額:1件80万円 応募者数 44題

	課 題	所 属	氏 名
1	原因遺伝子が骨粗鬆症の創薬ターゲットとなっている遺伝性骨硬化疾患の臨床像の検討	国立研究開発法人理化学研究所骨関節疾患研究チーム	池川 志郎
2	大規模ゲノムデータと臨床データを利用した骨粗鬆症の発症リスク、予後、治療反応性等に関する臨床的パラメータの探索	国立研究開発法人理化学研究所骨関節疾患研究チーム	稲葉 郁代
3	中高齢者の骨粗鬆症とサルコペニア～脊椎後弯と脊椎可動域への影響	名古屋大学医学部 整形外科	今釜 史郎
4	脆弱性骨折患者における二次骨折予防に関する研究	鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション科	尾崎 まり
5	骨粗鬆症性椎体骨折と腹部体幹筋力の関係および革新的な運動療法に関する研究	金沢大学附属病院 整形外科	加藤 仁志
6	脊椎椎体骨折連鎖(ドミノ骨折)のメカニズム—隣接椎体海綿骨の縦断的骨変化から推定する応力変化と薬物治療介入による治療効果—	北海道大学大学院医学研究科 整形外科	高畑 雅彦
7	全エクソン配列(エクソーム)解析による特発性若年性骨粗しょう症の責任遺伝子同定	東京都立小児総合医療センター 臨床遺伝科	武田 良淳
8	男性骨粗鬆症コホート研究10年次追跡による動脈硬化の脆弱性骨折発生に対する影響評価	大阪医科大学 衛生学公衆衛生学	玉置 淳子
9	骨の電気機械特性を利用した骨粗鬆症画像診断法の開発	東北大学大学院医学系研究科 上肢運動器学寄付講座	萩原 嘉廣
10	骨粗鬆症由来の脆弱性骨折(椎体および大腿骨近位部骨折)受傷患者における加齢性筋肉減少症(サルコペニア)合併率に関する調査	千葉大学大学院医学研究院 整形外科学	藤本 和輝

(敬称略・氏名50音順)

△第10回(平成29年度)旭化成研究助成プログラムの交付(研究期間:平成29年4月～30年3月)
助成金額:1件50万円 応募者数 55題

	課 題	所 属	氏 名
1	骨粗鬆症による椎体内酸性環境と腰痛の関連に着目したロコモティブシンドロームの予防法の検討	札幌医科大学医学部 整形外科学講座	黄金 勲矢
2	ステロイド性骨粗鬆症における社会経済的要因が脆弱性骨折に与える影響	神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科	大西 輝
3	リエゾンサービスによる2次骨折予防がQOLに与える影響の検討	鳥取大学医学部 保健学科	奥田 玲子

4	骨粗鬆症のQOL低下に影響する運動器疾患・酸化ストレスに関する疫学的研究	名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科	関 泰輔
5	チーム医療で実践する大腿骨近位部骨折における分岐鎖アミノ酸(BCAA)を含む栄養補助食品を用いたリハビリテーション栄養の前向き介入研究	国保野上総合厚生病院 リハビリテーション科	松本 卓二
6	骨粗鬆性大腿骨近位部脆弱性骨折のElectronic Data Capture(EDC) systemを活用した広域ネットワーク研究-骨折負の連鎖の予防を目指して	九州大学医学部 整形外科人工関節・生体材料学講座	松本 嘉寛
7	骨密度、筋肉量が高齢骨粗鬆症患者のQOL、脊椎アライメントに与える影響についての検討	北里大学医学部 整形外科科学	宮城 正行
8	骨粗鬆症と認知機能障害の合併がロコモティブシンドロームに及ぼす影響	弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座	和田 簡一郎

(敬称略・氏名50音順)

ハ) 次年度(平成30年度)分の助成募集と選考を行った。

- ・第26回(平成30年度)財団研究助成
- ・第14回(平成30年度)リリー研究助成プログラム(骨領域研究)
- ・第11回(平成30年度)旭化成研究助成プログラム(骨粗鬆症とそれを取り巻く諸問題)

○第26回(平成30年度)財団研究助成(研究期間:平成30年4月～31年3月)

募集期間:平成29年11月1日～12月25日

選考委員会の開催:

- ・平成30年2月8日(木) 19:00～20:00
- ・AP東京八重洲通り 12階 Jルーム
- ・選考委員 井上大輔 先生、竹田 秀 先生、岩本 潤 先生、寺内公一 先生

◇第14回(平成30年度)リリー研究助成プログラム(研究期間:平成30年1月～12月)

募集期間:平成29年7月1日～8月31日

選考委員会の開催:

- ・平成29年10月28日(土) 13:50～14:40
- ・AP東京八重洲通り 12階 Jルーム
- ・選考委員 伊木雅之 先生、遠藤直人 先生、岡崎 亮 先生、倉林 工 先生

△第11回(平成30年度)旭化成研究助成プログラム(研究期間:平成30年4月～31年3月)

募集期間:平成29年9月1日～10月31日

選考委員会の開催:

- ・平成29年12月4日(月) 18:25～19:30
- ・東海大学校友会館「有明の間」
- ・選考委員 林 泰史 先生、五來逸雄 先生、吉村典子 先生、小川純人 先生

(3) 調査・研究事業

イ) 骨粗鬆症治療薬の服用に関するアンケート調査(Happiness J-Study)

- ・資料保管(生データ)について
データ解析委託先にて試験終了後5年間保管(平成28年1月～平成33年1月)

ロ) 骨粗鬆症実態調査: ナショナルデータベース(NDB)による骨粗鬆症診療実態調査

- ・NDBの入手と内容確認
平成29年8月1日(火) 13時～14時30分
近畿大学医学部公衆衛生学教室
(内容)
 1. 入手したNDBレセプト情報の内容確認と解析方針の確認
- ・第4回実態調査WGの開催
平成29年9月5日(火) 18時～19時45分
AP東京八重洲通り 1 ルーム
(議題)
 1. 第19回日本骨粗鬆症学会での発表内容について
 2. NDB利用申出申請について
- ・第19回日本骨粗鬆症学会にて発表(平成29年10月21日)
「National Data Baseを用いた骨粗鬆症診療の実態調査」
(玉置淳子 先生:ポスター PSA-2)

ハ) 大腿骨近位部骨折患者全国調査

- ・岩手医科大学と受託研究契約を締結(研究担当者: 衛生学公衆衛生学講座 田鎖愛理先生/
坂田清美先生)
質問票を抽出した医療機関(5,037カ所)へ送付し、回収中(2,576カ所より有効回答)
現在の回収率 51.1%(5月1日現在)

二) A-TOPデータの再利用研究: 高齢者における骨粗鬆症の病態の多様性について

- ・A-TOP事務局にデータ利用を申請し、福本誠二先生を分担研究者、上村夕香理先生を解析担当者として依頼
- ・第20回日本骨粗鬆症学会にて発表予定

(4)情報収集&ロビー活動等

イ)IOF関連

折茂理事長:

- ・IOF-Board Web会議出席(平成29年11月29日(水) 18時~19時:日本時間)
- ・IOF-APAC RAC 電話会議出席(平成30年1月29日(月) 18時半~19時半:日本時間)

ロ)健康日本21推進全国連絡協議会との情報交換

第20回総会(平成30年3月6日(火))出席

(5)その他

イ)賛助会員の会

日 時:平成29年4月17日(月) 16時40分~18時

場 所:AP東京八重洲通り Gルーム

出席者:22社

主な議事:財団の普及啓発事業の概要/関係者が連携した啓発活動について

【収益事業等】

イ)著作権関連事業

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」等からの転載許諾対応

【管理部門】

事務局移転(平成29年8月7日)